

北海道養護教員会  
たより 第2号  
発行 R5.12.15

## 支部長研修会を終えて

会長 鈴木 美和

記録的な暑さが続いた夏が懐かしくさえ感じられるくらい、寒さが本格的になってまいりました。会員の皆様におかれましては、日常の執務にお忙しい毎日をお過ごしのことと思います。

過日、第2回支部長研修会を札幌エルプラザにて開催いたしました。支部長研修会が会場で開催されるのは令和元年度第2回支部長研修会以来、4年ぶりとなります。令和4年度から第1回支部長研修会は書面開催となりましたので、支部長さん同士が顔を合わせての会議は今年度初となりました。限られた時間の中ではありましたが、支部交流で支部の現状をお話していただく時間もとれ、情報交換ができました。夏の函館での大会に続き、養護教諭の仲間と直接顔を合わせてお話をすることは刺激とパワーを頂けることを実感いたしました。

本部からは「研究大会支援金の増額について」新たに提案をさせていただきました。各支部から御意見をいただき、改めて総会で提案し御審議していただく予定です。

同日、研究大会引継ぎ会も開催しました。第53回・第54回・第55回大会実行委員会から関係者が集まりました。4年ぶりの一部会開催となりました第53回大会運営の知見は、第54回・第55回大会の実行委員会に引き継がれ、充実した時間となりました。

本会の中心事業であります研究大会は、コロナ禍を経て、通常開催に戻るよう準備を進めていただいておりますが、各支部の現状や物価の高騰などの影響で各実行委員会は大会運営の計画に大変苦慮されております。今後、研究大会の在り方については会員の皆様の声を聞きながら検討しなくてはならない時期にきていると考えております。

早いもので令和5年も残すところ2週間となりました。会員の皆様がお健やかに、よい年を迎えられますようお祈りいたします。

## 第2回支部長研修会について

11月18日(土)、札幌エルプラザにて、第53回及び第54回北海道養護教員研究大会引継ぎ会に引き続き、令和5年度第2回支部長研修会が開催され、次の事項について審議・報告されましたのでお知らせします。

### 議事

- (1) 令和5年度業務経過報告
- (2) 第53回北海道養護教員研究大会について
- (3) 第53回北海道養護教員研究大会の反省
- (4) 第54回北海道養護教員研究大会について
- (5) 第55回北海道養護教員研究大会について
- (6) 研究大会にかかわる申し合わせ事項について
- (7) 研究大会における支援金増額について
- (8) 令和5年度総会について
- (9) 次年度本部担当支部について
- (10) 各支部提出議題(ありませんでした)

現在、各大会実行委員会は、運転資金50万円と研究大会支援金100万円で運営にあたっています。しかし、会場費・業者との契約価格の高騰や全般的な物価高により、予算編成に大変苦慮されています。そこで、本部からの研究大会支援金を100万円から150万円とすることを提案させていただきました。これらの提案について各支部から御意見をいただき、改めて総会で提案し御審議いただく予定です。

## 報告及び連絡事項

- |                  |         |              |
|------------------|---------|--------------|
| (1) 会費納入状況       | (4) その他 | ・執務手帳の斡旋について |
| (2) たよりと会誌について   |         | ・校種別会員数について  |
| (3) 各支部研究テーマについて |         | ・会員名簿の作成について |

会費については、今年度も全支部完納してくださいました。御協力くださったことに感謝申し上げます。現在の会員数は1,228名、納入金額は1,228,000円となります。

## 第53回北海道養護教員研究大会が終了いたしました

第53回北海道養護教員研究大会実行委員長 濱田 宏恵

北海道養護教員会会員の皆様、新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、その他冬に向かって様々な感染症への対応で、お忙しい日々をお過ごしのことと思います。

3年間続いた新型コロナウイルス感染症が、今年の5月に感染症法上の第5類に移行し、さまざまな規制が緩和されました。7月28日（金）夏休みに入り間もない暑い日、4年ぶりに一堂に会しての全道研が講演と講座のみの半日日程で行われ、無事に終了することができました。全道各地より359名の皆様に遠く函館まで足を運んでいただき、顔を合わせての大会の良さを改めて感じた日でした。当初の予定より変更になったことがいくつかありましたが、ご理解いただいた会員の皆様と大会に際して温かい励ましのお言葉をいただいたことに実行委員一同大変感謝しております。

大会後は、研究集録の発行に向けて取り組んできましたが、諸般の事情により、冬休み明けの1月に皆様のお手元に届くことになりました。大変好評でした講演や講座の内容、コロナ禍の厳しい状況の中研究を進めた5支部の貴重な発表を掲載しております。たくさんの学びを深めていただき、今後の養護教諭としての職務に活かしていただきたいと思います。研究集録の表紙は渡島・檜山両支部による合同開催にちなみ、渡島檜山の景観をイメージしたもので、「渡島の漁り火」から波、「檜山の風力」から風を表現しております。お手元に届きましたら、合わせてご覧ください。

来年は、空知・宗谷支部の主管で開催されます。皆様と一緒に再び笑顔で学びあい、話し合えることができる日を心待ちにしています。ありがとうございました。

## 第54回北海道養護教員研究大会

- |        |   |
|--------|---|
| 1 主 管  | 北海道養護教員会 空知支部 宗谷支部                                      |
| 2 日 程  | 令和6年8月1日（木）～2日（金）                                       |
| 3 会 場  | 1日目 「まなみーる」岩見沢市民会館・文化センター<br>2日目 ホテルサンプラザ・岩見沢平安閣        |
| 4 研究主題 | 『21世紀を担う児童生徒の健やかな心身の発達をめざして』<br>～これからの養護教諭の職務はいかにあるべきか～ |
| 5 内 容  | ・特別講演 ・講 座 ・分科会   |



## 第41回北海道思春期研究会参加報告



会長 鈴木 美和

令和5年7月8日に第41回北海道思春期研究会が北海道大学臨床大講堂にて開催されました。

テーマ「思春期世代の諸問題に対する支援」に沿って、4つの講演がありました。

指定講演1は「「ヤングケアラーを知っていますか？」～気づくことからはじめよう～」と題して北海道ヤングケアラー相談サポートセンターセンター長 加藤 高一郎氏の講演でした。ヤングケアラーについては報道などでも耳にすることが増えたとは思っていたところでした。今回の講演で江別を中心に活躍されている加藤氏の具体的な活動について知ることができました。

指定講演2は「思春期の子どもとの向き合い方」と題して、北海道医療大学心理科学部教授 柳生 一自氏がお話されました。北大病院児童思春期外来でのお話は、子どもの声に耳を傾けるという意味で、保健室での養護教諭の関りと通じるものがあると感じ、もっとたくさんの事例を聞いてみたいと感じました。

教育講演は「「生理の貧困」について～日本産婦人科学会の取り組み～」と題して、杏林大学医学部産婦人科教授 小林 陽一先生から、特別講演は「思春期の健康とプレコンセプションケア」について国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター母性内科診療部長 荒田 尚子氏の講演でした。

思春期世代の諸問題について幅広い分野で関わっている方々のお話はとても新鮮で、自身の視野を広げるきっかけとなる研究会でした。



## 第53回 北海道養護教員研究大会 渡島・檜山大会に参加して

事務局庶務係 井上 奏恵

7月28日(金)、はこだて湯の川において北海道養護教員研究大会が行われました。コロナ禍の3年間、誌上開催や動画配信など形を変えて大会が引き継がれ、ようやく会同開催となりましたが、会場に入るとたくさんの養護教諭が一堂に会する光景が本当に華やかで、温かく懐かしい気持ちがこみ上げました。

私自身、実は10年振りの大会参加でした。今回は参加の申し込みから講座など事前の案内、受付や振り返りアンケートなど、手続きの多くがweb上ですすめられたことに驚きました。執務の多忙化と働き方改革の狭間で、少しでも負担を少なく運営していくための変化と工夫を感じました。

精神科医として長年メディアでもご活躍されている香山リカ先生の特別講演では、「SNSのような、盛られ飾られた世界に振り回される必要はない、あなたはあなたのままでいい、頑張らなくていい、そのまま自信をもって楽しく過ごしていきましょう」というメッセージをいただき、心のどこかで「もっとしっかりやらなくては」と思う気持ちがふっと軽くなるようでした。

函館でご活躍の方々を講師にお迎えした3つの講座は、それぞれ「性教育」「ネット依存」「姿勢」をテーマにご講演いただきました。私が参加した講座では産婦人科医の新垣先生が取り組まれてきた多くの実践例とともに、性教育の難しさや必要性、効果的な指導のための資料などをご提示いただきました。

今回は、各支部の研究が誌上発表となり、研究集録が届くことを心待ちにしているところです。今後、分科会が以前のように対面で行われることに期待を寄せるとともに、暑かったこの夏、4年ぶりの会同開催に向けご尽力くださった渡島・檜山支部の皆様へ感謝の気持ちをこめて、大会参加報告とさせていただきます。貴重な学びの機会を、ありがとうございました。





## おめでとうございます

### 令和5年度北海道学校保健功労者表彰受賞者

岡本 紀久子 先生(留寿都村立留寿都小学校)  
小笠原 麻実子 先生(札幌市立日章中学校)  
萬徳 雅美 先生(市立札幌新川高等学校)

この表彰は、北海道の学校保健の振興に功労のあった教育職員及び団体並びに学校保健関係者を北海道学校保健会が表彰して、その功労に報いるものです。

令和5年度は、学校医 30 名、学校歯科医 28 名、学校薬剤師 13 名、教職員 3 名の計74名の方が受賞の栄誉に輝きました。



### 令和5年度 北海道養護教員会総会の御案内


〔日時〕 令和6年2月17日(土) 13:30~15:30

〔場所〕 かでる 2.7 1060 会議室 (札幌市中央区北2条西7丁目)


〔議事〕

|                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| ○令和5年度事業・業務報告        | ○令和5年度中間決算報告       |
| ○令和6年度事業・業務計画        | ○令和6年度予算案          |
| ○第54回北海道養護教員研究大会について | ○研究大会における支援金増額について |
| ○会則の改定(案)について        | ○令和6年度役員選出について     |

総会は会則15条により、支部の会員数に比例して選出された評議員により構成され、会員50名につき1名、そのうち1名は支部長が兼ねることとなっております。評議員の方々には1月中旬に開催案内及び議案書をデータ送付します。



《お知らせ》



### 執務手帳(札幌市養護教員会編)の斡旋について

- \*価格 1,870円(本体1,700円+税)
- \*仕様 B5版(ビニールカバーは付きません。)
- \*申込先 (株)北海教育評論社 〒065-0041 札幌市東区本町1条1丁目1-11  
TEL 011-785-3231 FAX 011-785-3731
- \*申込方法 学校名、住所、氏名、公費・私費の別を記入の上、FAXでお申し込みください。
- \*申込締切 令和6年1月26日(金) 期日厳守でお願いします。
- ※納期は、2月上旬になります。
- ※お支払いは、振込用紙にて3月上旬までに納めてください。なお、令和4年1月17日からのゆうちょ銀行の手数料変更により、窓口及びATMでの払込みサービスを現金で利用するときには1件ごとに110円が加算されます。加算料金については自己負担となります。
- ※個人情報を記載するページの取扱いには、十分御配慮ください。